



## 『抜本的自己革新の必要性』

―企業改革の基も、改革の目も  
まず己自身に向けることである―

高井法博会計事務所

所長 高井法博

人間は何かの片寄りを持っている。それは生まれ育ってここまで来るまでに、両親を始め先生や友人・結婚・学校・職業その他多くの人達との出会いや体験により影響を受け、

色々な考え方、行動パターンができ上がり一つのクセと言うかソフトウェアが構築されている。そのクセが理にかなっているものならば問題はない。しかし、往々にしてその逆の場合の方が多い。その結果いつも同じような問題に直面し、悩み、苦しみ、同じような行動パターンで対応し失敗している。

そんな時、山口大学学長・京都大学・ハーバード大学名誉教授である広中平祐先生の言を思い出す。先生は何日も大変悩み苦しんでいた数学の難問があるきっかけから次元を一つ高くすることにより簡単に解けるコツを身につけ、この応用によって次々と難問の解明を行い、数学のノーベル賞と言われるフィールズ賞を受賞された。先生は、『複雑な現象というのは単純な事実の投影に過ぎない。』と言われる。言われてみれば我々も複雑な問題に直面したとき、まず原点に帰り水平思考的発想を行うと案外簡単に問題を解決できることがある。例えば、信号のない交差点がありそこに四方から同時に車が入ってくると多重衝突は避けられない。しかし、一つ次元を高めて立体交差点にすると滞ることなく車は通行する。この交差点の真上から見下ろすと、この次元は平面に見え各方向からフルスピードで走ってくる車はあたかも交差点でぶつかるように見えるが、実際には衝突せず無事に通り抜けて行く。

企業経営も人生も人間社会も実に多様で複

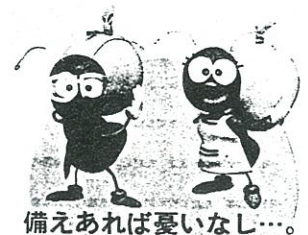
雑なものである。職場の内外の人間関係、親戚や友人・隣人との関係など往々にして煩しく、とても複雑で思い悩むことは多い。しかし、この人間模様は単純な事実の投影であるようである。単純事実とはどうも自分の心のようである。ビジネスの世界でも科学の世界でもそうであるように次元を高めて見ることでできないために、複雑怪奇に見える現象に苦しんでいることが多いようである。複雑な問題を解決するために、まず自分の心の次元を一つ高めて物事を見ることが必要ようである。

『企業改革の基も、改革の目をまず己自身に向けることである。』

経営者や幹部の仕事とは、変化に対応して発想を変え考え方を換え、行動を変化させることであり、通常の繰返し作業とは異なる。いくら通常の繰返し作業をキチンと行ってもそれを仕事とは言わない。通常の繰返し作業は部下の仕事であり、場合によっては機械でもできる。経営者や幹部の仕事とは、去年よりもよりよい仕事の仕組みを作ってやることであり、また、次々起こってくる問題で部下では解決できない問題について、方針に基づいてより良い解決をして行くのが仕事である。より高度な問題解決能力を持つものにより上位の役職につくこととなり、それが経営者であればより大きな企業を作ることがで

## 大きな実りで、ゆったり暮らす。

老後対策の秘訣は無理なく長期にわたって準備することです。「年金払積立傷害保険」は、けがによる死亡・後遺障害を補償するとともに、保険期間の途中から約定した給付金が年金方式でお受け取りいただけます。



備えあれば憂いなし…。

あなたの老後の備えは万全ですか！

## 年金払積立傷害保険 (ゴールドライフ)

大東京火災海上保険株式会社岐阜支店 〒500 岐阜市六条東1丁目4番3号 ☎ (058) 273-7211(代)

きる。進歩・向上とは、改革・改善の積み重ねである。大きく成って行く企業は問題解決ができる人間を補強し、また育てている。

各々のセクション・セクションにおいて、自己改善能力を身につけた組織は強い。各部門毎の問題は、各部門責任者が会社方針に従い問題解決をしていく。そして適切な報告がある。本来これがマネジメントの原則であり、経営者の役割はその問題解決を補助するのみであり、経営者はより高度な問題や大きな意志決定に当たるべきである。

これから期待される企業人は問題解決型の人間である。人間には大別して三つの類型があるとされる。一つには、他罰型の人間で何か問題が生じるとその原因を他人に求め、自分は決して悪いとは言わない人間で最も多い。二つ目は、自罰型の人間で問題の起きた原因はすべて自分のせいにする。『全て私が悪い』という手合いでいかにも謙虚そうであるが、それでいて自らは何の改善の手も打とうとはしない。三つ目が問題解決型の人間である。問題が身の廻りに発生するとその原因を徹底的に究明し、それに対する解決策を考え出し積極果敢に実行し解決していく。自身の仕事のやり方、勤務状況、部下や上司への対応・考え方・自分自身の生活パターン等々、改善すべき点はいくらでもある。こうしたことをすっかり忘れて、自分だけは大丈夫と思っている傲慢さがあっては部下も変わ

らない。

管理者自らが変わって行くことによって自律的な組織改革ができあがる。また、改革・改善は、中途半端なものではない。一部手直しやその場しのぎでお茶を濁しておくその後々大変な事態を引き起こすことが多い。

### 『パラダイム・シフトの重要性』

—— 竹内日祥上人から学ぶ ——

各々個人個人にはその人のパラダイムがある。パラダイムとは、思考の枠組み、思考のルールを言う。人は各々個人個人のパラダイムを通してしか世の中を観れない。自分のパラダイムに合う話しか吸収できない。

人間の脳は当然のこと、五感の全てがパラダイム効果に毒されていると言っても過言ではない。専門家と言われる人ほどこれが強いと言われている。

我々は問題が生じると、その問題の解決は自らのパラダイムで解決しようとする。しかし、今までのパラダイムで解決できない時、従来のパラダイムから新しい思考の枠組みにシフトさせないと問題の解決ができず、会社ならつぶれるような状況が生ずることがある。我々が新聞や本を読み、スバラシイ人に逢い講演を聴く等勉強するのは、従来のパラダイムを高品質化・高度化させるためである。

新しいパラダイムを作れる人は既成観念から脱却できる人で、勇気と責任感と決断力が

ないとできない。それこそ、これを変えるために不転転の決意で、「死ね」と言うような位のことを言ってくれる人と、また自分自身と命がけで戦ってこれをやり遂げられる人が、新しいパラダイムへ入ることができ、このようない人が高い思想を持つ人、人材と言われる人であると思う。このようなパラダイムシフトができて、今までと比べ一段と高い視点で物事を考え判断ができ、企業もまた人生もワンランク上の段階に到達できるものと思う。



## 土地活用の花形、 それがアパート経営です。

アパート経営は節税を図り、  
確かな収入をお約束します。



積水ハウス株式会社 岐阜営業所 法人営業課 ☎ (058) 264-4750

〒500 岐阜市金町4丁目30  
(明治生命岐阜金町ビル4F)